

8-4-11 港湾専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 港湾専門委員会の開催

専門委員会の開催：6回／年（奇数月）

WGへの参加：随時

(2) 施設研修会の開催

若手～中堅技術者の技術力向上を目的に、関門海峡を挟んで古くから海上交通の要となっている下関港と北九州港（小倉～門司）を視察し、港湾施設の利用や施工状況に対する理解を深め、関連する技術の習得・向上を図った。

（参加46名：プログラム番号201908080015）

a) 開催日：令和元年10月16日～17日

b) 場所：① 新門司フェリーターミナル（阪九フェリー）

：② 門司港レトロ（北九州港）

：③ あるかぼーと下関～長州出島

：④ 北九州市エコタウンセンター

：⑤ 関門海峡（海上視察）

：⑥ 新門司沖土砂処分場（施工中）

c) 視察内容：

① ターミナル利用状況やフェリー大型化への対応

② 北九州港の現状と課題、事業計画の紹介、今後の展望等

③ 下関港の歴史と現状、事業計画の紹介、今後の展望等

④ 北九州市の再生可能エネルギー技術、次世代エネルギーパークの取組み等

⑤ 関門海峡と沿岸施設の視察（船上より）

⑥ 新門司沖土砂処分場Ⅱ期（北九州空港沖合埋立）事業概要と施工状況視察

d) 説明者：

① 阪九フェリー(株) 旅客営業部、貨物営業部

② 北九州港湾・空港整備事務所 瀬賀所長

③ 下関港湾事務所 企画調整課 平原課長

④ 北九州市 港湾空港局 エネルギー産業拠点化推進室 田口課長

⑤ 下関港湾事務所 企画調整課 平原課長

⑥ 北九州港湾・空港整備事務所 企画調整課 後藤課長

(3) 講演会の開催

港湾関連業務に従事する技術者の技術力向上を目的に、近年の大型台風による被害とそれに備える高潮対策や、沿岸域における環境共生をテーマとして、またコンサル業界における課題の一つである女性技術者の活躍をテーマに、それぞれの有識者による講演会を開催した。

（参加72名：プログラム番号201911060005）

a) 開催日：令和元年12月3日（火）

b) 場所：ルポール麴町

① コンサル業界における女性技術者活躍

パシフィックコンサルタンツ株式会社 経営企画部 D&I 初ステージ 推進室 飯島室長

② グリーンインフラとしての生物共生型港湾構造物とその環境価値

国土交通省 国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部 海洋環境・危機管理研究室 岡田室長

③ 台風1821号の風・高潮・波浪による災害とその教訓

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所海洋情報・津波研究領域 河合領域長

(4) 照査特別WG活動への対応

港湾分野におけるエラー事例の収集と分析（9事例を追加）、品質セミナー用のテキスト更新

(5) RCCM更新CD-ROM教材の見直し

港湾技術基準改訂に伴い、「港湾及び空港」部門のRCCM更新CD-ROM教材の専門技術内容と問題の見直しを実施した。

(6) 各課題に対する意見照会等への対応

当協会内の維持管理対策WGや関連する協会（港コン協や設計士会）への対応。

2. 次年度の活動について

港湾施設研修会と技術講演会の開催やRCCM教材更新、エラー防止検討や品質セミナーへの講師協力等の活動を予定している。

（港湾専門委員会委員長 川嶋 憲）